平成２５年度・自主研究会等の活動報告書

|  |  |
| --- | --- |
| 研究会等の名称 | 経営改善・事業再生研究会 |
| 代表者 | 菊池武司 |
| 参加者 | 計12名　清成真一、藤田義範、長野研一、池田至郎、阿部芳久、岡田磨左英、中川智仁、岩崎美紀、鍵野正則、村上洋一、三室忠之 |
| 研究会等活動の目的 | 中小企業診断士としての再生支援のあり方を研究し、スキルアップを図る。 |
| 活動の記録 | 1. 平成２５年　７月２２日　１９：００～２１：００ 2. 平成２５年　９月１９日　１９：００～２１：００ 3. 平成２５年１１月　２日　１６：００～１８：００ 4. 平成２６年　１月１６日　１９：００～２１：００ 5. 平成２６年　２月１５日　１６：００～１８：００ |
| 研究会（調査研究事業）の成果 | ・3回に渡り、７名の再生支援経験者の事例報告を行い、事業再生に取り組むスタンス、提供してもらう資料、業務フロー、必要な知識、使用するツールやフォーマット等の共有ができた。  ・大分県中小企業再生支援協議会のマネージャーとサブマネージャーに参加を頂き、参加メンバーとの意見交換ができた。  ・最終回は、宮崎県中小企業診断士協会からオブザーバー参加があり、情報交換を行った。宮崎県では、保証協会がイニシアティブを取り、事業再生に取り組んでいることから、支援体制も県によって様々であることや、経営改善センター事業の件数が大分県よりも相当数多いことなどが分かった。 |
| 研究会（調査研究事業）の課題 | ・当初は、支援スキームの標準化を目的としたが、今年度は断念した。  ・協会が受託した場合の診断士の選定基準を設ける必要がある。  ・成果物の品資基準やリーガル面でも整備が必要である。  ・事業再生に対応できる診断士を増やすには、経験者と未経験者とのペ  アを組んで対応するような形が必要である。 |
| 中小企業経営者へのメセージ | 再生というとマイナスのイメージがあるため、メッセージもしづらいのですが、再生という事態に陥らないために、堅実な経営をしていくことと、再生云々は抜きにして、将来のビジョンを明確にし、中期的な事業計画書を策定して経営目標を達成させましょう。 |